

大いちょう

令和8年1月30日
岐阜市立加納幼稚園
園長 藤井 佐由美

今期最大の寒波到来！！でも戸外で元気に遊ぶ子どもたちです。

年長児は、1月15日（木）のドッジボール大会に向けて、毎日作戦を立てながら練習に取り組んでいました。ときにはマラソンをしたり、ときには作戦会議をしたり、ときには「さくら対いちょう」でやったり・・・繰り返し楽しむうちに、子どもたち自身がクラスのみんなを呼び集める姿が見られるようになってきました。すると、はじめは「怖い」「やりたくない」と言って仲間入りしなかった子どもたちも、少しずつ参加するようになり、「私は、怖いからずっと逃げてる。」「だって当たりたくないもん。」と言って、最後まで逃げ切ることを目標にする子も現れてきました。そうかと思うと数日経って見に行くと、今度は自分でも投げることに挑戦する姿も見られるようになっていました。やっぱり、毎



日続けることってすごい力になっていくんだなということを感じました。とにかく、徐々に「みんなでやって優勝する！！」という目標をもつようになっていきました。

そして大会当日、年少児や年中児、そして保護者の方の温かい声援の中「加納幼稚園対岐阜東幼稚園ドッジボール大会」が開催されました。保護者の方々の手作り応援グッズが素晴らしかったです



ね。皆さん我が子が推しなんですね。おかげでとても盛り上がりました。温かく元気な応援を、ありがとうございました。

中でも、嬉しかったのはAちゃんが、外野にボールが渡ったのに、そのまま逃げずにいる3人の子どもに自ら声をかけ、手を引いて最後列まで逃げていた姿です。もう一人、別の試合のときにはBちゃんが、配慮が必要なお子さんの手を取り、優しくナビゲートしていた姿です。こんな姿が自然に見られるのは、日頃から全ての子どもをクラスの仲間として関わり合っているからこそその姿だと思います。

ドッジボール大会までの過程の中で、多くのことを学んできた子どもたちでした。



そして、子どもたちにとっては待望の雪となりました。雪が降って喜んでくれるのは子どもと犬だけです。

1回目の雪はたいした降り方ではありませんでしたが、子どもたちは、少ない雪をかき集めて遊んでいました。見てください。3歳児ですが、このフォーム！この後、いかに強い雪玉が担任の先生を襲ったかはご想像にお任せします。その隣の写真は、少ない雪を洗面器にかき集めて色水をかけるととてもきれいな色に・・・色が変わっていく様子と、雪が少しずつ解けていく様子に心を奪われ少しずつ色水をかけていっている姿です。二人で、雪山が崩れないように慎重に遊んでいる姿が可愛らしいです。

そして、年中児の竪穴式住居・・・いえいえ穴掘りです。おもしろいですね。ただただ穴を掘り続けて、そこから溝を作っていくという遊びです。古代エジプトの人たちは、このようにしてピラミッドまで水を引き込んでいったんですよ。それと同じことをしています。担任も面白がってどんどん穴を掘っていくので、こんなにたくさん砂場の底が見えた年もあります。この遊びはしばらく続いて、その後穴がずいぶん塞がったのですが、また穴を掘り始める子どもがいました。

子どもの遊びというものは、このように一見「無駄」「無意味」「非効率的」「非合理的」に見えることが多いのです。でも、それぞれの子どもが夢中になって、対象（雪、砂、自然…など）と深く関わることは、「自分と世界とつながっていく」そんな壮大なプロジェクトでもあるのです。対象と繰り返し関わることで、子どもは対象の性質や変化を感じ、気づき、考え、さらに深く知ろうとして関わっていきます。それを、周りの友達や先生などと共有したり、分かち合ったりしながら思考を深めていくのだと思います。子どもの遊びには、これらの「余白」「余分」「隙間」などが必要であり、それが「遊び」の本質と言えるでしょう。

きっとご家庭でも、「何やってるの？」と言いたくなることがあるかもしれません。それが、各ご家庭で許される範囲のことであれば、対象と深く関わる時間を大切にしてください。そうすれば、

子どもの好奇心はずっと続くであろうと思います。でも、人に迷惑をかけることや、どうしてもやってほしくないこともありますよね。そんなときには、きちんといけない理由を含めて分かりやすく伝えてあげてください。もし、「こっちはダメだけど、あっちならいいよ」という「Aは不可能、Bは可能」という方式がとれると、さらに効果的です。



2回目の雪は、少し積もりました。雪を集めて、やっぱり雪だるまを作る子どもや、とにかく集めることを楽しむ子ども、滑って遊ぶ子どもなど、雪との関わりを存分に楽しんでいました。

雪の中、送り迎えをしてくださった保護者の皆さま、ありがとうございました。



《2月の保育について》

【3歳児】

- 先生や友達と一緒にいろいろなごっこ遊びを楽しむ。
- 先生や周りの友達に、言葉やしぐさで自分の思いを出して遊ぶ。

【4歳児】

- イメージを膨らませながら、自分なりに表現することを楽しむ。
- 自分の思いを出したり、相手の思いを聞いたりしながらそれに応じようとする。

【5歳児】

- クラスの共通の目的に向かって話し合い、自分なりの力を発揮し、みんなでやり遂げた満足感を味わう。
- なりたいものを調べたり描いたりしながら自分なりにこだわって創り上げる。



お知らせとお願い

○預かり保育「ちいさなおうち」について

前月の20日までのお申込みにご協力くださりましてありがとうございます。
3学期に入り、預かり保育の需要が高まり、日にちによっては既に定員を満たしている日も出てきました。申し訳ありませんが、お電話での申請は行っておりません。申請用紙を提出してくださった先着順での受付をしておりますので、今後も早めの申請をお勧めします。

○来年度6月頃の保育参加について

毎年、保護者の方に幼稚園での子どもたちの生活や遊び、友達との関わりなどを生の目で参観していただく機会として、「半日幼稚園の先生体験：保育参加」を実施しております。その際、給食の配膳も一緒にしていただくために、割烹着（長袖付きエプロン）が必要となります。6月に必要になって購入しようとすると、季節的にお店に商品がないという状況があるようですので、今のうちにご用意されることをお勧めいたします。

○鬼見学について

1月30日（金）に延期を予定していた「鬼見学」の中止については、スマート連絡帳でお知らせしたところです。時間をかけて教師間で話し合いをした結果、このような決断をさせていただきましたこととお詫び申し上げます。

今回は、年長児の代表による「Gifu Mirai's Education Week」の発表があり、子どもたちに時間的な余白をつくってあげたい思いもありました。

しかし、30日（金）の節分ごっこでは、思い切り「鬼は外～！福は内～！」の意味を感じながら、自分の中の弱い心を退治する中で子どもたち一人一人の心が強くなることを願っています。

もし、機会がありましたら、ぜひご家族で鬼見学に出かけてみてください。間近で見ると、結構大きくて圧巻ですよ。

年少児、年中児の皆さんは、車窓から見るだけでも、来年度の見学につながるかもしれません。